

平成 2 7 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人広島市産業振興センター

# 目 次

	ページ
I 設立目的及び概況 . . . . .	1
II 役員等の状況 . . . . .	1
III 評議員会等の開催 . . . . .	3
IV 定款の変更 . . . . .	4
V 職員の状況 . . . . .	5
VI 事業の実施状況等 . . . . .	6

**平成27年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告書**  
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

**I 設立目的及び概況**

**1 設立目的**

企業の経営基盤の強化、技術の向上その他の市内産業の振興及び発展に資する事業を行い、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

**2 概況**

**(1) 設立年月日**

平成4年4月1日 「財団法人広島市産業振興センター」設立

平成24年4月1日 公益財団法人に移行し、「公益財団法人広島市産業振興センター」に名称変更

**(2) 基本財産**

基本財産 50,000,000円 (全額広島市出資)

**(3) 実施事業**

- ア 企業の経営の基盤強化及び革新に関する事業
- イ 技術の向上及び革新に関する事業
- ウ 創業支援に関する事業
- エ 企業の情報化の促進に関する事業
- オ 企業の人材の確保及び育成に関する事業
- カ 国際経済交流の促進に関する事業
- キ 商工業の振興に関する調査及び研究
- ク 広島市が設置する産業振興施設の指定管理
- ケ 広島市が設置する産業振興施設の管理運営の受託
- コ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

**II 役員等の状況**

**1 役員等の数**

理事長	1人
常務理事	1人
評議員	10人
理事	13人
監事	2人

## 2 評議員

(1) 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成27年 6月25日	評議員	前川大二	辞任
平成27年 9月10日	評議員	吉村勝昭	就任
平成28年 3月31日	評議員	吉村勝昭	辞任

(2) 平成28年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	青木信之	平成24年 4月 1日
評議員	金井誠太	平成26年 3月17日
評議員	川田淳雄	平成27年 3月30日
評議員	下村純一	平成24年 7月 9日
評議員	十倉純子	平成24年 4月 1日
評議員	野北和彦	平成24年 4月 1日
評議員	平田富美子	平成24年 4月 1日
評議員	前田香織	平成24年 4月 1日
評議員	松木一弘	平成27年 3月30日
評議員	吉村勝昭	平成27年 9月10日

## 3 理事・監事

(1) 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成27年 4月 1日	常務理事	福永哲夫	就任
平成27年 4月 1日	理事	川口英明	就任
平成27年 6月 4日	監事	坪井宏	辞任
平成27年 6月 4日	監事	本田裕二	就任
平成28年 3月31日	理事長	三村義雄	辞任
平成28年 3月31日	常務理事	福永哲夫	辞任
平成28年 3月31日	監事	手島健志	辞任

(2) 平成28年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
理事長	三 村 義 雄	平成26年 4月 1日
常務理事	福 永 哲 夫	平成27年 4月 1日
理事	越 智 秋 雄	平成24年 4月 1日
理事	加 藤 厚 海	平成26年 6月11日
理事	川 口 英 明	平成27年 4月 1日
理事	木 崎 裕 之	平成26年 6月11日
理事	牛 来 千 鶴	平成24年 4月 1日
理事	西 藤 諭美子	平成24年 4月 1日
理事	中 岡 弘 夫	平成26年 6月11日
理事	西 村 成 美	平成24年 4月 1日
理事	平 田 圭 子	平成24年 4月 1日
理事	藤 原 弘 文	平成25年 6月25日
理事	細 井 謙 一	平成24年 4月 1日
理事	森 脇 喜美代	平成24年 4月 1日
理事	山 田 昌 徳	平成26年 6月11日
監事	手 島 健 志	平成24年 4月 1日
監事	本 田 裕 二	平成27年 6月 4日

### Ⅲ 評議員会等の開催

#### 1 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成27年 4月 1日	第1回	1 理事の選任について	選 任
平成27年 6月 4日	第2回	1 監事の選任について	選 任
		2 平成26年度公益財団法人広島市産業振興センター決算について	承 認
		3 平成26年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告について	終 了
		4 平成27年度公益財団法人広島市産業振興センター事業計画及び収支予算について	終 了
		5 平成26年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について	終 了
平成27年 9月10日	第3回	1 評議員の選任について	選 任
平成28年 3月30日	第4回	1 評議員の選任について	選 任
		2 理事の選任について	選 任
		3 理事の選任について	選 任

## 2 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成27年 4月 1日	第1回	1 常務理事の選定について 2 常勤役員の報酬について 3 公益財団法人広島市産業振興センター平成27年度第1回評議員会の招集について	選 定 原案可決 原案可決
平成27年 5月20日	第2回	1 平成26年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告及び決算について 2 公益財団法人広島市産業振興センター平成27年度第2回定時評議員会の招集について 3 職務執行状況の報告について 4 平成26年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について	承 認  原案可決  終 了 終 了
平成27年 8月21日	第3回	1 公益財団法人広島市産業振興センター平成27年度第3回評議員会の招集について	原案可決
平成28年 3月28日	第4回	1 平成28年度公益財団法人広島市産業振興センター事業計画及び収支予算について 2 公益財団法人広島市産業振興センター平成27年度第4回評議員会の招集について 3 職務執行状況の報告について	原案可決  原案可決  終 了

## IV 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

## V 職員の状況

平成28年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分	事務職員					技術職員					嘱託	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事	部長級	課長級	補佐級	係長級	技師		
事務局長	1											1
企画総務課		1	1	1	3						1	7
中小企業支援センター		2	2	4	5							13
技術振興部		1	(1)		(2)	1	3	(2)	(1)	(3)	5	(9)
部長						1						1
技術振興室		1	(1)		(2)						2	(3)
材料・加工技術室							1	(1)	(1)	(2)	2	(4)
システム技術室							1	(1)	1	(1)	1	(2)
デザイン開発室					1		1			2		3
合計	1	4	(1)	5	(2)	1	3	(2)	(1)	(3)	6	(9)

(注) ( )内の数は、広島市職員の併任で、外数である。

## VI 事業の実施状況等

### 1 事業の実施状況

#### (1) 公益目的事業

##### ① 企業の経営基盤強化、創業等の支援に関する事業（公益目的事業1）

中小企業の経営基盤の強化、創業等への支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

#### ア 経営基盤の強化

コーディネータによる支援、窓口相談事業、アドバイザー派遣事業等により経営課題の解決を行うとともに、企業の成長を支える人材育成に関するセミナー等を開催し、中小企業の経営基盤強化に向けた支援を行った。

また、県・市連携の一環として、広島市域以外の広島県西部地域における中小企業者の経営相談等にも応じた。

##### (7) コーディネータによる支援 146社

民間企業出身で経営、技術及び情報分野の専門的な知識と経験を有するコーディネータを配置して、経営や技術上の課題解決に向けて継続的に支援し、公的助成申請支援（64社）、経営計画作成支援（33社）等を行った。

##### (4) 窓口相談事業 319件

専門家等による相談窓口（広島県西部地域を含む）を設置し、中小企業者の経営に関する課題や法律問題などの相談に応じた。

また、（公財）ひろしま産業振興機構、広島商工会議所及び広島県商工会連合会と連携して、統一電話番号による相談体制を整え、相談内容に応じて適切な支援事業を紹介した。

##### (6) 特別金融窓口相談事業 64件

金融専門の特別窓口を設置し、厳しい経営環境下にある中小企業者の資金面についての相談に応じた。

##### (1) 融資制度等受付相談事業 348件

セーフティネット保証制度の認定申請の受付のほか、資金繰り等の問題を抱える中小企業者に対して、助言や各種融資制度を紹介した。

##### (6) 経営支援アドバイザー派遣事業

###### a 経営支援アドバイザー派遣 141回（44社）

経営上の課題を有する中小企業者に対して、専門家を派遣し、生産性向上、人材育成、営業戦略の策定、店舗演出等に関して助言した。



- b 商店街等活性化支援アドバイザー派遣 15回(7団体)  
商店街、事業協同組合等の団体が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、組織活性化等に関して助言した。
- c 障害者経営支援アドバイザー派遣 4回(3人)  
障害のある創業予定者や事業主に対して、専門家を派遣し、経営課題の解決に向けて助言した。

- (カ) 景気対応経営支援アドバイザー派遣事業 13回(5社)  
厳しい経営環境下において、セーフティネット保証制度の認定を受けた中小企業者に対して、専門家を派遣し、販売促進等に関する助言を行った。
- (キ) 里山・離島活性化支援アドバイザー派遣事業 11回(5社)  
中山間地域の中小企業者に対して、専門家を派遣し、地域資源活用等に関して助言した。
- (ク) 中小企業等人材育成事業 経営セミナー 5回(参加者数 129人)  
中小企業経営者等を対象に、経営体質の強化、企業の成長を支える人材の育成を目的に、従来の経営戦略、財務管理等の分野に関するセミナーに加え、新たに医療・福祉関連分野への事業進出に関するセミナーを開催した。

## イ 時代をリードする技術・商品の開発

販路開拓コーディネータによる支援や新成長ビジネス事業化支援事業などにより、販路開拓や新製品・新技術の早期事業化を支援した。

- (7) 販路開拓コーディネータによる支援 81社  
民間企業出身で販路開拓や営業、商品開発等に関する豊富な実務経験を有する販路開拓コーディネータを配置して、新製品や新技術の開発計画のブラッシュアップからビジネスマッチング等の販路開拓活動までを継続的に支援し、12社のビジネスマッチングを行い、5社(7件)が成約に至った。
- (イ) 新成長ビジネス事業化支援事業  
中小企業者等が行う新成長ビジネス分野(エコ、観光、医療・福祉、都市型サービス)に関する新製品や新技術の早期事業化を支援した。
  - a 事業化支援助成金  
試作品の機能性評価、事業化計画のブラッシュアップ、販路開拓等に要する経費を対象に助成金(助成率1/2)を交付した。
    - ・交付先数: 6社(助成額 1,689万7千円)
  - b 専門家派遣  
6社に対して専門家を派遣(11回)し、事業化計画のブラッシュアップや販路開拓の段階における課題解決のために助言した。
  - c 事業化の状況  
6社のうち2社が平成27年度に新商品の販売を開始し、残り4社は、平成28年度中に販売開始できる見込みとなった。

(ウ) **見本市等出展助成事業**

中小企業者等が研究開発により実用化又は商品化したものについて、見本市等への出展に要する経費の一部に対して助成金（助成率1/2、上限20万円）を交付した。

- ・ 交付企業数：10社（助成額157万9千円）
- ・ 商談件数等：見本市等への出展期間中に、458件の商談が行われ、30件が成約に至った。

ウ **個性と魅力ある商業の振興**

いい店ひろしま事業では、顕彰事業として7店舗を顕彰し、優秀な小売店舗の認知を図った。また、応援事業として店舗の魅力度の維持・向上の支援のため、平成26年度の顕彰店舗に対し、専門家による店舗演出指導等を行った。

(7) **商店街等活性化支援アドバイザー派遣事業（再掲）** 15回（7団体）

商店街、事業協同組合等の団体が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、組織の活性化等に関して助言した。

(イ) **いい店ひろしま事業**

a **顕彰事業**

広島市、広島商工会議所及び広島市内の各商工会と実行委員会を組織し、接客、店舗演出、ユニバーサルデザイン対応への取組み等が優秀な小売店舗を顕彰した。

- ・ 対象店舗：広島市内の中小企業者が市内で営む小売店舗
- ・ 顕彰店舗数：7店舗
- ・ 応募店舗数：495店舗（自薦店舗29店舗、他薦店舗466店舗）

b **応援事業**

いい店ひろしま顕彰事業の顕彰店舗に対して、店舗魅力度の維持・向上を図るため、継続的な支援を実施した。

〔支援の実施内容〕

- ・ 巡回店舗指導：平成26年度顕彰店舗のうち、希望のあった3店舗に専門家を派遣し、店舗演出、広報等の指導をした。
- ・ 交流懇談会：顕彰店舗を対象に交流会を開催した（広島商工会議所と共催）。
- ・ 広報等：「いい店ひろしま」の店舗紹介冊子を作成した。また、店舗のPR用に顕彰店舗を示すステッカーを各店舗に配付した。

エ **創業しやすい環境づくり**

創業チャレンジ・ベンチャー支援事業では、創業者向け研修会・セミナーによる創業者の掘り起しや国の創設した「創業補助金」等の創業支援施策との連携を考慮し、以下の事業を実施した。

(7) **創業チャレンジ・ベンチャー支援事業**

有望な事業モデルを有する創業予定者及び創業後3年未満の中小企業を募集選定し、事業イメージの具体化等に向け、専門家による事業計画の策定支援を行うとともに、認定した事業について、専門家による助言や融資による総合的な支援を実施した。

a 事業計画策定支援

- ・事業決定件数 21件（うち8件が創業後3年未満）
- ・専門家による事業計画策定支援：支援回数 77回

b 事業計画実行支援

- ・事業認定件数 19件（うち8件が創業後3年未満）
- ・専門家による事業計画実行支援：支援回数 38回
- ・融資「創業チャレンジ・ベンチャー資金」：実績 8件 2,750万円

(4) **創業者向け研修会・セミナー** 4回（参加者数 104人）

創業予定者及び創業して間もない中小企業を対象に、創業に必要な知識・手法の習得や創業者が抱えている課題解決のための研修会・セミナーを開催した。

a 創業者向け研修会 4日間×2回開催

広島市立中央図書館と連携して、創業や経営に必要な知識・手法について演習を主体とした総合的な研修会を開催した。

b 創業者向けセミナー 1日×2回開催

コミュニケーション術、成功する商品・サービスをテーマにしたセミナーを開催した。

(5) **起業支援アドバイザー派遣事業** 18回（12人）

創業予定者及び創業後1年以内の中小企業者に対して、専門家を派遣し、起業時の留意点、事業計画、販売促進策等に関して助言した。また、国が創設した「創業補助金」の交付決定者（当財団で事業計画の策定支援を行ったものに限る）に対して、専門家を派遣した。

**オ 卸売業の振興**

**流通革新研究会** 3日間×1回

広島商工会議所や協同組合広島総合卸センターと連携して、モノにまつわるコトなど中小卸売業者のマーケティング戦略について研究会を開催した。

- ・参加者数 40人（28社）

**カ 情報の発信**

中小企業に必要な経営や技術に関する情報提供や展示会への出展等を通じて、中小企業支援施策の広報を行った。

(7) **産業情報システムの運用**

a 中小企業支援センターに関する情報提供

中小企業支援センターの事業案内、支援施策など経営に役立つ情報を発

信した。

- ・アクセス件数：月平均16,783件（年間201,389件）
- b ひろしまの企業支援情報に関する情報提供  
広島市及び国・県等の中小企業向け支援情報を発信した。
  - ・アクセス件数：月平均3,626件（年間43,509件）
- c 工業技術センターに関する情報提供  
工業技術センターの有する技術情報等を発信した。
  - ・アクセス件数：月平均11,281件（年間135,367件）
- d 広島の企業情報の収集・発信  
広島の企業の保有技術やノウハウ等を収集・登録し、インターネットを通じて情報発信することで、ビジネス機会の拡大を支援した。
  - ・アクセス件数：月平均19,365件（年間232,372件）
  - ・商談成立件数等：商談が成立したもの17件、商談継続中のもの3件。

#### (イ) 情報提供

- a メールマガジンの発行  
中小企業に必要な経営や技術に関する情報、研修会等の開催案内、各種支援施策情報などを掲載したメールマガジン「広島市産業振興センターNEWS」を発行した。
  - ・発行回数： 22回（定期号12回及び臨時号10回）
  - ・配信者数： 2,899人（平成28年3月末現在）
- b 展示会への出展
  - ・ひろしまIT総合展2015  
当財団のブースを設け、中小企業支援センターから新製品・新技術の開発に関して支援した事例や、技術振興部から3Dプリンタの研修会の紹介を行った。

ブースへの訪問数	265件
パンフレット配布数	174件
  - ・第14回ビジネスフェア中四国2016  
当財団のブースを設け、中小企業支援センターから支援（創業チャレンジ・ベンチャー支援事業、窓口相談、専門家派遣、コーディネータ）を受けた2社、技術振興部デザイン開発室から第14回ひろしまグッドデザイン賞を受賞した企業9社の商品を展示し、説明・販売を行った。

ブースへの訪問数	1,500件（中小企業支援センター分のみ）
パンフレット配布数	249件
商談件数	27件
販売件数	112件

#### キ その他

経営革新等認定支援機関、広島地域中小企業支援地域プラットフォームの代表機関として、国の各種補助金をはじめとした中小企業支援施策の活用を通じて、中小企業の経営基盤の強化、創業等の支援を行った。

## ② 企業の技術向上に係る支援事業(公益目的事業2)

中小企業に対する技術支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

また、県・市の連携強化の一環として、技術情報を共有するとともに、研究会、研修会の共同開催をするなど利用者の利便性向上を図った。

### ア 広島市工業技術センターの指定管理

#### (7) 技術研究会

企業等の技術者の技術水準の向上を図るため、企業や大学等で構成する研究会を設け、技術的課題の解決や既存技術の応用研究に向けた取組等を通じ、会員企業等の製品開発、技術開発などを支援した(県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で外数)。

研究会名	内 容	開催回数	会員企業数
広島品質工学研究会(県市連携)	「ものづくり」への品質工学の適用による製造不良、設計不良等の損失の低減	2回 (4回)	25社
材料・設計技術融合研究会	材料技術と設計技術の融合による製品及び材料等の開発・改良	2回	12社
広島表面処理技術研究会(県市連携)	表面処理(めっき)技術の向上、有害物質等の環境規制への対応及び若手技術者の育成	9回 (2回)	24社
新商品デザイン開発研究会	中小製造企業におけるマーケットイン的発想によるデザイン的にも優れた新商品開発	7回	5社

#### (4) 技術者の研修

中小企業の製品開発、設計、製造、評価・解析等の技術力の向上を図るため、材料・加工技術、システム技術及びデザイン技術に関する基礎的知識及び専門的知識を体系的に習得できる研修会と最新の情報を提供する講習会・セミナーを開催した(県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で外数)。

講習会名	内 容	開催回数	参加者数
金属加工技術講習会	金属加工技術に関する技術情報の提供	1回	16人
品質管理実践講習会	品質管理の実践に関する情報の提供	1回	53人
広島高分子材料研修会(県市連携)	プラスチック、ゴム等の高分子材料に関する技術情報の提供	3回 (2回)	141人 (15人)
広島木材加工技術講習会(県市連携)	木材加工、木材製品に関する技術情報の提供	1回	23人
デジタルエンジニアリング講習会	三次元デジタルデータを利用した製品設計技術の基礎と応用及び活用事例の紹介	1回	40人
解析・シミュレーション研修会	流体解析などシミュレーション技術の修得を目的とした座学研修	6回	24人

講習会名	内 容	開催回数	参加者数
情報・電子技術講習会	情報処理技術、電子技術、通信技術等の最新情報及び活用事例の紹介	1回	31人
3Dプリンター活用技術研修会	製品開発における3Dプリンター活用技術の習得を目的とした実習	10回	11人
デザイン講習会	デザインの開発事例及び最新動向等の情報提供	1回	22人
商品企画・開発講習会	商品企画・開発手法に関する事例及び企画立案のポイント等の紹介	1回	32人

(ウ) **技術指導推進**

a 工業技術支援アドバイザーの派遣 19件

中小企業の技術力の強化を支援するため、省エネルギー技術やデザインを活用した商品開発などに関して専門家を企業に派遣し、具体的な技術的課題に対して指導を実施することにより、その解決を支援した。

b 技術指導相談 2, 595件

中小企業の生産性、技術力及びデザイン開発力の向上を図るため、企業技術者の来所等による技術指導・相談を随時実施し、製品不良対策、品質管理等の企業が直面している技術的課題の解決、新製品・新技術の開発やデザインを活用した商品づくりを支援した。

c 依頼試験・評価 21, 615件

中小企業の技術力の向上と新製品の開発を促進するため、製品及び部品の物理的・化学的諸特性などについて、各種試験・評価及び技術指導を行うとともに、欠陥原因の究明など企業が直面している技術的課題の解決を支援した。

d 技術情報普及

中小企業の技術力の向上を図るため、専門的かつ広範囲な技術情報を入手・提供した。また、工業技術センターにおいて、技術相談・指導、依頼試験等の各種データをデータベースに蓄積するとともに、利用者・企業の利用状況を分析し、効果的・効率的な技術支援に活用した。

(I) **工業技術センターの運営**

a 試験研究設備利用

新製品開発に必要とする試験研究設備を中小企業の利用に供した。

・設備利用件数： 11, 953件

b 工業技術振興調査

工業技術センターの事業充実を図るため、各種中小企業団体に対し、中小企業における現状や課題、要望等について調査・分析を行った。

・アンケート調査 12団体

イ 指定管理以外の支援事業

(7) 産学官共同研究等の工業技術相談

各種研究開発補助制度の情報提供、指導・相談を行うとともに、大学等の研究者の紹介を行った。

- ・情報提供（メールマガジン） 61件
- ・指導相談及び補助制度、研究者等の紹介 74件（技術指導相談と重複）

(イ) 環境・エネルギー関連分野の支援

企業活動における環境負荷評価に役立つ講習会、次世代のエネルギー関連技術の動向などについてのセミナーを開催した。

講習会名等	内 容	開催回数	参加者数
環境経営実践講習会	製品に含まれる化学物質管理のポイントの紹介と化学物質規制に関する情報提供	1回	34人
次世代エネルギー産業創出セミナー	水素エネルギーを取り巻く現状と可能性、今後の展望に関する情報提供	1回	82人

(ウ) 福祉関連分野の支援

成長が期待される福祉関連分野での製品開発等を支援するため、異業種企業で構成する福祉用具開発研究会を開催した。

研究会で開発したほうきの自助具が、ひろしまグッドデザイン賞を受賞した。また、発達障害の子ども向けに開発した卓上型パーティションがマイナー入力作業用として使われ始めた。

研究会名	内 容	開催回数	会員企業数
福祉用具開発研究会	・高齢者、障害者の社会生活の向上を支援するための福祉用具の開発と製品化 ・障害を持つ児童・生徒のための教材教具の開発支援	4回	13社

(イ) デザイン関連分野の支援

多様化した市場ニーズに即した商品開発の強化と企業のデザイン開発力の向上を図るため、デザインに関する振興事業を実施した。

a ひろしまグッドデザイン賞（隔年）

優れたデザインの奨励及び広島市域のデザインの振興を図るため、第14回ひろしまグッドデザイン賞を実施し、市内に事業所を有する企業がデザイン開発した商品及びパッケージの中から、デザイン面、機能面で優れたものを選定し、表彰した。

受賞商品については、平成27年11月5日に表彰式を行い、紙屋町シャレオ中央広場で展示販売会を開催するとともに、東京インターナショナルギフトショー（東京ビッグサイト）、ビジネスフェア中四国（広島市中小企業会館総合展示館）への出展などを行った。

- ・応募点数：92点（72社）

・賞及び選定数

グランプリ : 2点 (プロダクト部門、パッケージ部門 各1点)

準グランプリ : 2点 (プロダクト部門、パッケージ部門 各1点)

特別賞 : 1点

奨励賞 : 25点

b ひろしまデザインネットワーク

デザイン関連団体や企業、大学等を会員とする「ひろしまデザインネットワーク」を運営し、会員相互の情報交換会議の開催や先進事例に関する勉強会を開催した。また、デザインイベント連携事業の実施等を通じて会員の相互連携を深め、広島地域におけるデザインネットワークの構築とデザイン振興拠点機能の強化を図った。

名称	内容	開催回数	参加者数等
情報交換会議	各機関の活動やイベント情報の交換、連携強化方策やデザイン振興等の協議	3回	25団体
勉強会	大阪市のクリエイティブネットワークセンター大阪(メビック扇町)の事業内容等を参考にしたデザイン振興拠点及びデザインネットワークの在り方の検討	1回	16人

c デザインマネジメント人材育成

中小企業の売上等の増加による従業員の処遇改善を図るため、商品の企画から販売に至るまでデザインを経営資源として活用するノウハウを習得できる研修を実施した。

研修カリキュラム終了後、平成27年8月29日に広島国際会議場においてフォーラムを開催し、デザインマネジメントを実践している企業経営者の講演と受講者による研修成果発表を行った。

・支援対象企業 15社(各社1人)

区分	テーマ等	開催回数	受講者数等
講義	ものづくりの商品企画	4回	支援対象企業 15人
	知的財産戦略		
	サービスデザイン概論		
	プロモーション戦略		
企業見学会	デザインを活用して成果を上げている中小企業を見学	1回	
ワークショップ	デザインとデザインマネジメント	3回	(支援対象企業 15人)
	デザインマネジメントの理解		
	デザインマネジメントの実践		
フォーラム	フォーラム及び研修成果発表会	1回	聴講者 164人

(オ) その他



中小企業の技術支援に資する事業として、産業振興団体等と講習会等の共催を行った。

## (2) 収益事業等

### ① 研修室等の管理運営

中小企業の研修や会議等の活動の場として、研修室、会議室（各1室）の貸出を行った。

・利用日数：研修室 80日、会議室12日

### ② 広島ミクシス・ビルの管理

広島市、株式会社広島ソフトウェアセンター及び協同組合広島インテリジェントセンターから委託を受けて、広島ミクシス・ビルの共用部分等の管理を行った。

## 2 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

### (1) 建物等

(平成28年3月31日現在)

名 称	現 在 地	区 分		現 在 高
広島市産業振興センター (広島ミクシス・ビル)	西区草津新町 一丁目21番35号	建物	事務所等	延床面積 635.334 m <sup>2</sup>
		駐車場		収容可能台数 9台分

### (2) 物品 (平成28年3月31日現在)

区 分		現 在 高
車両	乗用車	1点

注：この表は、重要物品として取得価格又は評価価格が100万円以上の物品を掲載した。

## 3 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。